

全国のみなさん、支援物資のご協力、本当にありがとうございました！！



老福連が物資提供のお願いを会員のみなさんやホームページ上で呼びかけたのが15日(火)。

その後わずか4～5日の間で、驚くらしいの支援物資が全国各地から集まり始めました。みなさま方のあたたかい支援に心より御礼申し上げます。

案内をおこなった翌日、16日(水)のお昼過ぎには、すでに事務所に＜支援物資の発送表＞のFAXが届き始めました。そのレスポンスの早さもさることながら、一施設が送ってくる物資の量は、おそらく段ボールで換算すると30～40箱にもものぼる、かなりのボリュームでしょう…。

また、関西発となるリレー便の中継基地局にも、とてもじゃないですが、車輛には一度に載せきれないほどの物資も集めていただきました。＜NO4＞のNEWSでお伝えしたとおり、みなさまからお寄せいただいた物資は、すべて被災地への支援として運搬をさせていただきます。本当にありがとうございました。

なお、施設会員のみなさまには、23日(水)にFAXでご案内させていただきましたが、物資提供につきましては、前述の通り相当数におよぶ支援物資のご協力をいただきましたおかげで、現在ご準備いただいているもの＝収集の段取りを済ませているもの、発送の手配を済ませているものを持ちまして、一旦、受付を終了させていただきました。本日以降発送いただく物資につきましては、老福連事務局まで一報をお願いいたします。今後は、山形・福島・宮城それぞれの施設の復興状況にあわせ、その都度必要なものを届けられるよう、全日本民医連さん等関係機関とも調整の上、手配をおこないたいと思います。今後、あらためて物資提供のお願いをすることもありますが、その節にはどうぞよろしくお願い致します。

※ みなさんからご協力いただいた物資は、仙台・宮城野の里をはじめ、山形のとかみ共生苑、福島の郡山市にある特別養護老人ホームおおつき、福島市内にある特別養護老人ホームはなしのぶの四施設に、リレー便で運搬をさせていただきました。

### 宮城野の里さんの現状

31日(木)時点、現地・宮城野の里の状況は、次第に施設機能を取り戻しつつあり、町や地域にも少しずつ復興の動きが見られるようになってきましたが、ライフラインであるガスが未だ開通していないことや、津波によって壊滅状態に陥っているエリアが施設のすぐ近隣にあることから、今後の運営や支援体制の検討等、依然厳しい状態が続くことが予想されます。(25日にガス局が点検に来る。復旧まであと1ヶ月くらいかかるとの見通し。)

また、20日(日)時点で宮城県保健福祉部 災害本部より配信された情報においても、建物ごと津波の被害にあい、職員・入所者ともに死者・行方不明者が出ているところも相当数にのぼること、また、県内すべての福祉施設の情報把握



※宮城野の里 玄関前での食事盛り付け風景

にまで未だなお至っていないような状況です。

さらに、地域にある避難所がすでに縮小の動きに進みつつある一方、福祉避難所の設置がされていないために、今後行き場のない高齢者がますます増えていくことも予想されています。

こうした現状を鑑み、宮城野の里では、仙台市健康福祉局とも調整をおこなった上で、21日(月)より施設を福祉避難所として活用させ、地域を支える拠点となるような動きも同時に作りはじめています。

現在は、ケアハウスの食堂にあたる部分を宿泊できるフロアとして改造し、15名の高齢者やそのご家族を受け入れているところです。

併せて、宮城野の里の在宅サービス利用者の中にも、津波によって家屋が流された方、水没して自宅に戻れない方、家族が災害復旧にあたり介護できない状態にある方などが今も施設で生活をされています。

定員20名のショートステイでは30名を越える状況で受入をおこない、デイサービスについても、22日より徐々に再開しているところです。(燃料がないため送迎はできない)

## 特別養護老人ホームおおつきさん(福島県郡山市)の現状

連日報道がされている通り、福島では震災による被害と原発の事故によって、深刻さがさらに増しています。

そうした状況の中、特別養護老人ホームおおつきさん(福島県郡山市)でも、双葉郡富岡町(福島第二原子力発電所より数キロ圏内)に位置する「特別養護老人ホーム館山荘」から11名の入所者を受け入れながら、日々の援助にあたっています。

また、地域包括支援センターと協力のもと独居世帯への配食サービスをおこなったり、近隣の保育園や幼稚園に水を届けたり(放射能問題で安全なミルクもつくれなくなっている)、避難所にいる方のデイサービス利用を受け入れるなど、柔軟な対応を続けることでこのエリアの拠点となって地域を支えておられます。

老福連HP・トップページのお知らせ欄、【被災地支援など 会員からのニュース・情報】の中にはすでにアップロードしましたが、おおつきさんでは、<ひとりひとりのためのニュース>と題して、職員さんに向けたニュースレターを随時配信しています。復興に向け、施設をあげて、地域で幅広い取り組みを展開する様子・内容がタイムリーに綴られています。読んでいるこちらにも非常に元気づけられるような内容で、「さすが社会福祉法人だな〜!」、「もっと応援できることはないかな…」と思わずにはおれません。

ぜひ!ぜひ!、ダウンロードして読んでみてください。

(※FAX配信されたものをPDFにしているため、読みづらい部分もあるかもしれません。ご了承ください。)

## 愛知県 蒲郡眺海園の職員さん5名が直接現地へ物資運搬&支援へ!!



蒲郡眺海園の職員さん5名が、24日(木)に愛知県蒲郡市を出発し、一路仙台・宮城野の里へ車を飛ばして向かってくださいました。車庫には、被災地で必要とされる物資とともに、現地ではほとんど手に入らない新鮮なお野菜をギッシリと詰め込み、約12時間かけて運搬をしてくださいました。(小野施設長が「買い取ります!」と恐縮するほど大量の野菜だったらしいです…。大変喜んでおられました!) 翌25日(金)は終日現場の支援に入ってください、26日(土)早朝には、また早々と蒲郡へと帰って行く…という強行軍をこなしてくれました。5名の職員さん、そして施設のみなさん、本当にありがとうございました。

現地で、宮城野の里の近隣の被害状況を自分たちの目で学んできた彼ら。施設に帰って数日後。もともと予定していた学習会のテーマを変更し、早速、被災地で学んできたことを職員に報せるために勉強会を開催したそうです。(「小野施設長の言葉が胸に刻まれました…」と語ってくれました。)